

異なる年齢の方との対話を通して多様な考え方・価値観を知り、生き方を考える機会となりました。 2年 “キャリア・ワークショップ” 2月14日(土)

本校では、学校経営方針3つの柱の1つ「『関わる力』人間関係づくり」の重点項目に、“キャリア教育の推進”を掲げています。そのうち、2年生においては、自分の生き方を考える機会として、外部人材を活用した取り組みを取り入れています。昨年度は、ソニー生命保険株式会社が行っている、経済産業省主催キャリア教育アワード「最優秀賞(経済産業大臣賞)」受賞の教育プログラム「ライフプランニング講座」を実施しました。今年度は、一般社団法人ひと・つながり研究所ラクシュミーにご協力いただき、「キャリア・ワークショップ」を実施しました。

このプログラムは、社会人及び大学生の方から、自身の人生・価値観や壁にぶつかった経験などを等身大で話してもらうキャリアトークセッションです。今回は、講師としておいでいただいた社会人10名・大学生10名がペアとなって10教室で講座を開設、そこに、15名程度10グループに分かれた2学年生徒が教室をめぐり、2つの講座を受ける形式で行いました。



各トークセッションは、以下のような内容で行われました。

- ・「中学時代から現在までの自分の人生経験」のシェア
- ・「自分を作るきっかけとなった経験」のシェア
- ・中学生へ向けたメッセージ

そのなかで、多くの方が次のようなお話をされていました。

- 学生時代に悩んだり挫折しそうになったことが、今振り返ると、それが転機となり成長につながったり自分を作るきっかけになったりしている。
- 困難や変化に遭ってもそれを受け入れながら進んでいくこと、大人になっても成長するという気持ちをもつこと、新しいことへ挑戦することが大切。



その後アリーナに集合、グループごと、記入したワークシートなども使いながら、講座を受けた社会人・大学生の方と今日の感想などを伝え合いました。講師の方と自然な形で会話する生徒たちの様子が印象的でした。

今回のトークセッションは、

- ・いらしていただいた社会人・大学生の方から、「その人の人生の物語を直接聞く」経験
- ・講義や発表、プレゼンテーションを聞く・するのではなく、「異なる年齢の方と話す・伝え合う」体験といった、日ごろ学校ではできない、意義ある体験、貴重な経験となりました。

おいでいただきました講師の皆さま、コーディネート・運営いただきました末吉謙太郎さまをはじめひとつながり研究所ラクシューミーの方々、この度は本当にありがとうございました。